

埼玉佛教

平成24年10月 第192号

平成24年10月25日 発行
 No.192
 〒330-0063
 さいたま市浦和区高砂4-13-18
 財団法人 埼玉県佛教会
 電話 (048) 861-2138
 FAX (048) 864-6649
 発行人 萩野 映明
 http://saibutu.net
 印刷所 関東図書株式会社



第64回 埼玉県各流讃佛歌奉詠大会 (埼玉会館・大ホール)

編集後記	12
事務局日誌	12
訃報	11
【開催予告】	11
第5回埼玉佛教文化講座	10
第34回埼玉佛教徒大会日程	9
インド仏教聖地巡拝紀行②	8
▼「埼玉同宗連」	
第36回研修会	6
・支部だより	
▼浦和仏教会研修会	7
▼埼玉県宗教連盟	
平成24年度・研修旅行	4
・トピックス	
第64回埼玉県各流 讃佛歌奉詠大会	2・3
目次	



第64回埼玉県各流讃佛歌奉詠大会

◆去る9月18日(火)、埼玉会館

大ホールにおいて埼玉県各流讃佛歌奉詠大会が開催された。本大会は今年で第64回を迎える大会となった。参加支部・講は別掲の通り。例年、参加者には参加の記念としてバッジを配布している。バッジの色は佛旗に由来しており全5色。今年の色は赤色。

◆模範奉詠(奉詠順)

◇曹洞宗

・梅花流特派師範
西村宗洋 師(狭山市)
曲目『道心利行御和讃』

埼玉県各流讃



◇真言宗智山派

・密厳流遍照講指導師範
流匠 一等師範
吉川克彦 師(愛媛県)
曲目『光明真言和讃
・付五色光』

◇真言宗豊山派

・豊山流大師講詠秀
細井賢雄 師(所沢市)
曲目『総本山長谷寺
第三番御詠歌 浄音』

◇浄土宗

・東京教区吉水講理事
井村真則 師(神奈川県)
曲目『冬の御詠歌』
『宗祖法然上人
八百年大遠忌和讃』



◆賀儀(覧)(順不同)

ありがとうございました。

◇真言宗智山派

密厳流遍照講 様
◇狭山市・慈眼寺 西村宗洋 様
◇横浜市・浄泉寺 井村真則 様
◇久喜市・清福寺 馬場貞範 様
◇鴻巣市・勝願寺 藤田得三 様
◇川口市・密蔵院 山口正純 様
◇川口仏教会 様
◇さいたま市・東泉寺 河野亮玄 様

◆運営協力(順不同)

机・椅子のご提供、ありがとうございました。

◇守光院 様(さいたま市)
◇大應寺 様(富士見市)
◇多福院 様(戸田市)
◇遍照院 様(上尾市)

◆参加支部・講(覧)

敬称略

〔市町・流派〕参加支部・講名
〔プログラム順・初〕初参加・見…見学

紅組

埼玉第十二教区寺院婦人会
〔坂戸・密厳〕
埼玉第二教区寺院婦人会
〔戸田・密厳〕
埼玉第三教区寺院婦人会
〔鴻巣・密厳〕
大智寺支部
〔坂戸・密厳〕
寶幢寺支部
〔志木・密厳〕
大榮寺支部
〔坂戸・密厳〕
善徳寺支部
〔久喜・密厳〕
宝性寺支部
〔さいたま・密厳〕
医王寺支部
〔さいたま・密厳〕
円蔵院支部
〔さいたま・密厳〕
三学院支部
〔蕨・密厳〕
法恩寺支部
〔坂戸・密厳〕
〔越生・密厳〕
廓信寺支部
〔さいたま・吉水〕
光善寺紫陽花会
〔川島・密厳〕
大串山支部
〔吉見・密厳〕
三光院御詠歌の会
〔朝霞・密厳〕



白組

埼玉第四教区寺庭婦人会

〔春日部・密厳〕

埼玉第十・十一教区寺庭婦人会

〔坂戸・密厳〕

埼玉第五教区寺庭婦人会

〔久喜・密厳〕

馬頭院支部

〔杉戸・密厳〕

宝性院支部

〔杉戸・密厳〕

宝積寺支部

〔越谷・密厳〕

観福寺支部

〔白岡・密厳〕

大應寺支部

い組

吉祥院支部

〔富士見・密厳〕

多福院支部

〔久喜・密厳〕

高輪寺支部

〔戸田・密厳〕

今泉山支部

〔久喜・密厳〕

清蔵院支部

〔吉見・密厳〕

大應寺支部

ろ組

- 大光寺支部 〔久喜・密厳〕
- 有勝寺支部 〔本庄・密厳〕
- 迎盛院支部 〔久喜・密厳〕
- 正法院正詠会 〔久喜・密厳〕
- 曹洞宗埼玉県第一宗務所寺族会 〔熊谷・梅花〕
- 久喜清福寺支部 〔久喜・豊山〕
- 真宗寺支部 〔熊谷・密厳〕
- 埼玉第二教区智山青年会 〔さいたま・密厳〕
- 西福寺支部 〔川口・吉水〕
- 遍照院支部 〔久喜・密厳〕
- 普濟寺梅花講 〔鴻巣・梅花〕
- 永楽寺支部 〔深谷・密厳〕

- 錫杖寺支部 〔川口・密厳〕
- 円心寺支部 〔本庄・吉水〕
- 大應寺支部 は組 〔富士見・密厳〕
- 上尾遍照院支部 〔上尾・密厳〕
- 埼玉第一教区智山青年会 〔川口・密厳〕
- 密蔵院支部 〔川口・密厳〕
- 龍蔵山支部 〔鴻巣・密厳〕
- 勝軍寺支部 〔さいたま・密厳〕
- 明星院支部 〔桶川・密厳〕
- 傳通院 〔東京・吉水〕



新年賀名刺広告

について

平成25年1月初旬に発行予定の「埼玉佛教」新年号に名刺広告を左記の通り募集いたします。皆様のご協力をお願い致します。

記

サイズ 43mm(横)×61mm(縦)

金額 一万円

申込方法 連絡先を明記の上、

原稿をFAX【048(864)

6649】又は郵送にて、事務

局までお送りください。後ほど

事務局から確認の連絡を致しま

す。過去の年賀名刺広告と同じ

場合は、お電話でも承ります。

【発行後、掲載紙と振替用紙を

お送り致します】

申込先 埼玉県佛教会事務局

〒330-0063

浦和区高砂4-13-18

電話048(861)2138

ト
ピ
ッ
ク
ス

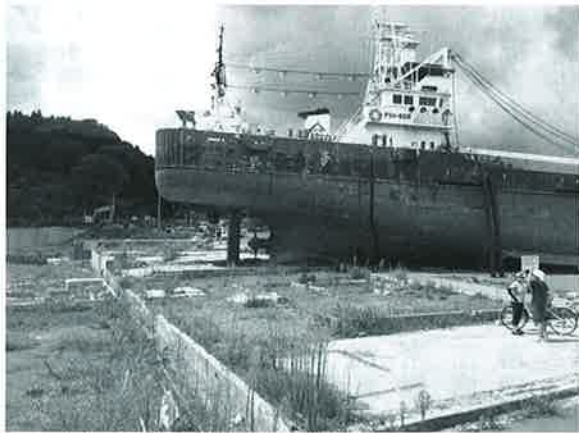
●「平成24年度・研修旅行」
（東北地区復興支援の旅）

埼玉県宗教連盟

9月5日・6日の旅程で『平成24年度・「埼玉連」』（理事長・伊藤雅由）研修旅行」が実施された。参加者42名。今年訪れたのは東日本大震災で大きな被害を受けた宮城・岩手の2県。震災発生から約1年半が経過した現地視察と被災者支援が主な目的となった。

本会から深谷雅良専務理事、蕨戸田支部長の中村信行師、荒南支部長の角山祥隆師、そして石渡学師（大應寺職員）、事務局員3名の合計7名。

初日は大宮駅に7時50分に集合。一行は東北新幹線で一ノ関まで向かい、バスに乗り換え、宮城県気仙沼市へと移動。車中から見る一関周辺の景色は山に緑が生い茂り、田畑が広がり、



とてもものに感じられた。しかし、バスガイドさんから被災当時の様子などを直接聞くと、自分自身が事前にテレビやインターネットなどを通して見聞きしていた事は、ほんの一部分にしか過ぎないのだと実感した。一行を乗せたバスは気仙沼市内へ。気仙沼は日本でも有数の遠洋漁業の漁港の一つで、フカヒレの水揚げは日本一。その漁港脇の高台に建つ「ホテル観洋」で新鮮な魚介類中心の昼食。午後の移動では気仙沼漁港周辺を

車窓見学。がれき等は撤去されてはいたものの、基礎だけが残された家の跡が目立っていた。震災後数ヶ月間は火事による焼け焦げた臭いと、被害に遭った水産加工場からの臭いで大変だったというガイドさんの話が印象的だった。



次に、向かった気仙沼市の唐桑地区を結ぶ海岸線沿いの道からは、津波が押し寄せたとは想像がつかないほど青く美しく静かな海が見えた。津波により海に溜まっていたヘドロが掻き取



られたので以前に増して美しくなったという。

地元の方々との交流を図る目的で、この地区の公民館やデイケア施設を兼ねた「燦さん館」を訪問。震災直後から支援を続けている天理教の方々に協力いただき『しあわせ講座』を実施した。より多くの方々に参加していただきたいという思いで、隣接する仮設住宅にお住まいの方々に一軒一軒、歩いてお知らせに回り、20名程の方にご参集いただいた。天理教の長谷部康夫氏が司会を務め、立正佼成会の鈴木啓太郎氏により開会挨拶が行われた。当会専務理事の深谷雅良師と天理教の飯島博氏に



奇跡の一本松

よる『しあわせ講座』の後、埼玉県宗教連盟から唐桑地区社会福祉協議会へ支援金20万円を贈呈。参加してくださった方々を拍手でお見送りした。その後再びバスで陸前高田市を経由して遠野市へと向かった。陸前高田市内もバス車内からの見学となったが、海岸沿いの広い土地には何もなくてガラんとした印象を持った。遠くに「奇跡の一本松」を見ながら震災前の松並木を想像し、自然の猛威を改めて感じた。



岩手県カッパ淵

日本の原風景ともいえる景色が残る遠野市内に到着。遠野市といえば、柳田國男の「遠野物語」でも知られる民話の里。この町には、カッパや座敷童子の伝説があり、その風景から、まるで民話の世界に足を一歩踏み入れたような感覚を覚えた。花巻温泉郷大沢温泉「山水閣」で疲れを癒やし1日目を終了。2日目は、中尊寺金色堂を参拝。世界遺産に認定されただけでなく、修学旅行の団体や観光客で賑わっていた。宝物館をゆつ

くりと見学したかったが、時間の都合で駆け足だったことが心残り。次に訪れたのは松島五大堂。雲行きが怪しく、今にも雨が降りそうとのことで昼食前に五大堂見学に出かけた。松島や塩釜は沖に浮かぶ小島のおかげで津波の勢いが減衰されて被害が少なかったという。五大堂にかかる橋も、その向こうの小島にかかる長い橋も健在。昼食は松島の島々を眺めながら海の幸をいただいた。松島から仙台まではローカル線の旅。趣を感じながら仙台駅まで移動し、新幹線で大宮へ向かい解散した。

(事務局・永堀)



●第36回研修会
「埼玉同宗連」

平成24年9月28日(金)、埼玉同宗連会館を会場に第36回研修会が開催された。参加者は約80名。講師は地方史研究家で鼻緒騒動研究会会長の間々田和夫先生。「武州鼻緒騒動について」という演題で、レジュメに基づいて進められた。開会行事では、部落解放同盟埼玉県連合会書記長の小野寺一規氏から、来賓挨拶をい



ただいた。講演は、差別の現状からはじまり、その後、鼻緒騒動事件の経緯が細かく説明され、歴史的史料に基づいて「部落史用語辞典」における武州鼻緒騒動の説明の間違いや、非常に広域な範囲で騒動に参加した者がいるということが解説された。舞台となった長瀬村では、今なお騒動について触れることが避けられ、若者に騒動について教えない現状が続いているという。最後に関東取締出役の存在など、当時がどのような状況であった

かの説明がされ、90分の講演は終了した。

また、今年度の現地学習会は「武州鼻緒騒動」関連として東松山岩殿観音正法寺をはじめとする、鼻緒騒動の舞台となった各所を間々田先生の説明をいたしながら、お尋ねし、埼玉の歴史の一齣を学習する。



左から、小野寺氏、間々田氏、佐々木議長

曹洞宗 護国山 守光院
住職 木村 正幸

【坐禅会】毎月第2、第4日曜の午前7時～8時30分(無料)
【梅花流御詠歌指導】毎月第2・第4木曜の10時～14時
(最初に御詠歌の道具を購入しますので1万円位かかります)

お問合せは、048-885-5861まで
〒336-0015 さいたま市南区太田窪5-11-9

お十夜の寺
(毎年11月14日・埼玉県民の日)

勝願寺 住職 藤田得三
法然共生

〒365-0038 鴻巣市本町8丁目2番31号
Tel 048-541-0227
Fax 048-541-1054

支部だより

浦和仏教会研修会

平成24年9月27日(木)に、浦和仏教会では研修会として妻沼・聖天山歓喜院と吉見・岩殿山安楽寺に参拝してまいりました。参加者は10名で、8時15分にバス一台にて出発し、9時30分に歓喜院に到着いたしました。ガイドボランティアの「阿うん



の会」の方の案内で重要文化財の貴惣門を見学した後、国宝指定となった聖天堂本殿にて鎌田亮宣会長を導師として御法楽を厳修し、拝殿、中殿内部を見学いたしました。その後お茶の接待をいただきながら、鈴木英全院主のお話を頂戴しました。修復工事費用についてや、庶民によつて建てられた建築物であることが評価され国宝になったこ



となど、貴重なお話を聞くことができました。本殿前の石舞台で記念撮影をした後、再び阿うんの会の方の案内で、今回7年ごしの修復が終わった聖天堂を見学いたしました。彫刻はどれも細かくて色鮮やかで、説明を



寺はテレビで紹介されたことから、願い事の叶うパワースポットとして有名になっており、若い方の参拝が増えているそうで、絵馬掛にはびっしりと絵馬が奉納されていました。毎年6月18日の「厄除け朝観音御開帳」のときには、参道にお団子屋さん、文化財の三重塔を拝見した後、門前のお団子屋さんで厄除け団子をごちそうになり、浦和への帰路につきました。

(報告・浦和仏教会事務局)



聞くと所々に当時の職人の遊び心が込められていることが分かり、庶民の浄財を集めて建てられたことを実感し、感動いたしました。最後に名物のいなり寿司をお土産としていただき、吉見・岩殿山安楽寺に向かいました。安楽寺では島本久嗣副住職の案内でまず本堂において御法楽を厳修し、そのまま本堂内を見学いたしました。珍しい日輪大師や数々の大型奉納絵馬があり、その一つ一つについて説明していただきました。今、安楽

インド仏教聖地巡拝紀行②

本間 照康 (さいたま市・真弘寺副住職)



5時前にホテルで軽くパン等を食べて出発。再びデリーの空港へ行き、1時間ほど飛行機に乗ってインド北東部のパトナに到着。バスのある駐車場に向かうと、早速物乞いや子供たちが集まってくる。インドの田舎ではこういった人たちに荷物を盗られないように注意しなくてはならない。纏わり付く人らをあしらいつつバスに乗ってお釈迦様が悟りを開かれた(成道の)地、ブッダガヤへと向かう。仏教を守護したアショーカ王時代の首都であり、お釈迦様が最後の旅で王舎城から歩いた地をバスで走っていく。かつて栄えたこの地も現在はインド国内で最も貧しい州だそう。いかに田舎、といった風景。インドの都市部には信号がちゃんとある



が大部分の田舎には信号はなく、コンクリートを固めて1本の線を作ったというような道しかない。そのため大型バスといえど後部に座ればジャンプするほど揺れるし、道を走る車は自分の位置を周りに知らせるためにクラクションを常に鳴らす。3時間ほどバスに揺られたところで昼食を食べる法華ホテルに到着。

元々日本の法華グループが作ったホテルということでも出された料理も日本食風。うどん、ナスを揚げたもの、鳥の唐揚げにご飯といったメニュー。おいしくいただくことができた。

午後はまず世界最古の大学の1つ、ナーランダ大学跡へ。バスを降りるとパンフレットや数珠を持った人々が群がってくるが敷地内までは来ないので静かになる。この大学は427年に建てられ、最盛期には1万人の学生と1500人の教員が住んでいたとのこと。唐の三蔵法師こと玄奘三蔵もこの大学で学び、経典を唐に持ち帰っている。現在発掘されているのは約1^キ四方でそれらは全て赤レンガ造り。千年以上経っても赤レンガは当時のままを保っており、とても広く立派な建物があったということが一目で分かるが、当時はもっと広大で10^キ四方くらいのはざらがあったというのだから驚きを隠せない。高さもかなりあ



るが、手すり等は無いため、うっかり足を踏み外すと危ない。屋根は木造だったらしく、学生たちが住む1人部屋、2人部屋の跡もあり、2人部屋にはベッドの跡が2つ、部屋の外には下水道の跡もあった。この地は元々お釈迦様の10大弟子である舎利弗尊者と目連尊者の出身地で、大学の敷地内には舎利弗尊者の舎利が収められた巨大なストウパーがある。当時の文化水準の高さ、仏教の繁栄を身をもって体感できる地であった。ま

た、このナーランダ大学跡と道路を挟んで向かい側にはこの遺跡から出土した仏像の博物館がある。日本の仏像とは少し違い、ここの仏像はスラッとした逆三角形の体型で、いわゆるイケメン。観音菩薩像や、降三世明王像などが安置されていた。館内はカメラ禁止。ナーランダ大学を後にしてバスに乗るとまもなく竹林精舎に到着。竹林精舎とは、マガダ国のビンピサーラ王がお釈迦様の教団に寄付した、いわゆる最初の寺院。お釈迦様はこの地で5回の安居を行い、多くの教えを説かれたという。安居とは虫等が増える雨期にそれらの小さい生き物を踏み殺すことの無いように遊行を止めて1カ所に僧侶が集まって修行、勉強すること。敷地内は整備され静かな公園になっている。日本からの寄付で竹を植えているらしいが数十本を1つの塊として植えているため、まるで大木が何本も植えられているかのよ

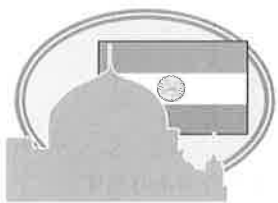


うな感じ。精舎内には池もあり、そこには竹林精舎を表す Yenu (竹) Yenu (大きなジャングル) の文字が書かれてある。帰り際にお土産屋さんか何人か我々の周りにくっついて数珠や置物などを買うよう勧めてきた。日本人はやはり上客なのだろうか、彼らはとても日本語が上手だ。品質も値段も信用できないので、何も買わずにバスに乗り込み次の目的地へ。

次にバスを降りたのはビンピサーラ王が息子のアジャータシ

ヤトルに幽閉されたという牢獄の跡。60m四方の石の壁の跡が残っており、ここから鉄製の足枷が発掘されたらしい。すぐ目の前に霊鷲山(リョウジウサン)を望むことができる。霊鷲山はお釈迦様が法華経等を説かれた場所とされる小高い山で、2時間程歩けば山頂にたどり着くことができるそう。昼間は37度くらいの猛暑だったが夕方になって気温も下がりが心地よい風が吹く場所だった。

本日宿泊するホテルは「ザ・ロイヤル・レジデンシー」。夕食は、この旅初めてのインド料理。メニューは野菜の塩スープ、揚げ春巻、タンドリーチキン、パスタ、ハウレン草とマッシュルームの炒め物、カレー3種(ほうれん草、チキン、豆)、ナン、米、マサラティー。チキンカレーと春巻がちよっと辛いかなといった感じで意外にも辛いものは少ない。ただ現地ガイドさん曰く、辛くなくても香辛料がたっぷりなので食べ過ぎないようにとのこと。個人的には豆カレーが食べやすくおいしかった。ナンはイメージと違って薄く小さい。また、米は細長くパサパサ。ビールは1瓶650mlで、アルコールは8%と書いてあった。仲間に少しもらったが、とても濃くて650ml全部飲むのはかなり大変。食事が終わってお土産屋を覗くと、チベットマンダラや仏像、布などが置いてあったが値段を聞くとどれも高い。1mくらいの大きなマンダラで17万。布が7千円など、明らかに日本人価格。本気で買いたいと思ったら、そこから値引き交渉が始まるが特に惹かれるものも無く、そのままお土産屋を後にした。シャワーを浴びて就寝。(つづく)



第34回埼玉県佛教徒大会 日程

《大会テーマ》

彩の国「希望のひびき」

被災地復興の祈りを 彩の国から

入場無料

日時 **平成 24 年 11 月 7 日 (水)**

開場 (受付開始) 12:30・開会 13:00・閉会 16:00 (予定)

会場 **所沢市民文化センター・ミューズ「マーキーホール (中ホール)」**

[〒359-0042 所沢市並木1-9-1 / 電話 04-2998-6000]

《プログラム》

開会行事

- ①開会のことば 大会実行委員長 木村 盛雄
- ②記念法要《開経偈、三帰依文、般若心経》
- ③大会会長挨拶 (財)埼玉県佛教会会長 萩野 映明
- ④来賓祝辞
- ⑤諸連絡

記念講演

『心の復興』

- ・福島県 真言宗豊山派円福寺住職・大正大学講師
石井 祐聖 先生

記念公演

『聲明と太鼓の響き ～復興への祈り～』

- ・真言宗豊山派僧侶 (聲明・太鼓)
- ・上田 秀一郎 先生 (太鼓)

閉会行事

閉会のことば 入間東部地区仏教会会長 石渡 隆幸

※内容は変更になる場合があります。

第5回 埼玉佛教文化講座【開催予告】

入場無料・要参加申込

開催 **平成25年2月23日(土)**

会場 埼玉会館 [さいたま市浦和区高砂4-13-18]

講演 『生きるよろこび (仮)』

※詳細は現在、調整中です。内容は変更になる場合があります。

講師 **酒井 大岳 先生** (群馬県・曹洞宗長徳寺住職)



・1935 (昭和10) 年3月、群馬県吾妻郡生まれ。駒澤大学仏教学部禅学科卒業。ナマステ・ネパール会会長、上州みすゞ会主宰「金子みすゞ」の研究

《著書》『心があったまる仏教』2012年3月、『たったひとことで人生は変わる「愛語」のすすめ』、『金子みすゞの詩を生きる』など多数。

★開催日程・参加申込方法など詳細につきましては、12月頃に埼玉県佛教会のホームページ等でお知らせ致します。県佛ホームページアドレス…<http://www.saibutu.net/>

訃報

謹んでお悔やみ申し上げます。

平成24年7月

19日 鶴ヶ島市法昌寺 (曹洞)

三芳 康義 師(51歳)

30日 富士見市浄円寺 (浄土)

石村 豊龍 師(79歳)

8月

18日 鳩山町円正寺 (曹洞)

中澤 幸雄 師(78歳)

22日 行田市妙音寺 (臨濟)

鏡 光昭 師(78歳)

30日 羽生市祥雲寺 (曹洞)

千代田 文隆 師(80歳)

9月

10日 越谷市東福寺 (豊山)

佐々木 眞純 師(92歳)

訂正とお詫び

・前号の修正とお詫び

▼11頁3段9行目

・萩野映明会長・全日本佛教会副会長就任祝賀会の賀義報告において吉州正見師(杉戸)の寺院名に誤りがありました。

×正見寺

○正明寺

▼15頁4段右側(協賛広告)

・川越市・蓮馨寺様の協賛広告において寺院名の表記に誤りがありました。

×連馨寺

○蓮馨寺

関係各位には、大変ご迷惑をおかけして申し訳ございませんでした。深くお詫び申し上げます。

事務局日誌

平成24年(2012年)

8月

6日▼スリーエスコナルティ
ング(移行申請委託業者)
来局

8日▼緊急政府要請行動(解放
同盟)

13日▼事務局お盆休暇(15日)

22日▼「全仏」平成24年度第1
回広報委員会/明照会館
(事務局・小池)

29日▼奉詠大会打合せ・教化委
員会合同会議

▼「埼玉同宗連」第2回役
員会(埼玉会館)

30日▼第34回埼玉県佛教徒大会
第4回運営委員会(所沢
・持明院)

9月

5日▼「埼玉宗連」研修旅行・東
北中尊寺・気仙沼ほか被
災地視察(6日)

▼「埼玉青」写仏

11日▼第34回埼玉県佛教徒大会
第3回実行委員会(所沢
・持明院)

18日▼第64回埼玉県各流讃仏歌
奉詠大会(埼玉会館)

▼妻沼地区仏教会・戦没者
慰霊祭・法話(妻沼・歡
喜院/講師:上村正剛師)

27日▼浦和仏教会・第2回研修
会(妻沼・歡喜院参拜)

28日▼「埼玉同宗連」第36回研
修会

10月

5日▼第34回埼玉県佛教徒大会
第5回運営委員会(所沢
・持明院)

11日▼「全仏」都道府県仏教会
・仏教団体代議員会議
(埼玉会館)/懇親会(浦
和山崎屋)

15日▼第34回埼玉県佛教徒大会
第4回実行委員会(所沢
ミューズ)

22日▼「埼玉同宗連」平成24年

度現地学習会/講師・
間々田和夫氏)

編集後記

奉詠大会の壇上でお唱えして
いる講員さんの輪袈裟に過去4
回分の記念バッジが付けられて
いるのを見た時、今年の参加で
全5色が集まるのだと感動しつ
つ、気持ち新たに今後も続けて
欲しいと心から願った。(鯉)

埼玉県佛教保育協会

第28回埼玉県佛教幼児画展

《日時》

平成25年1月26日(土)

13時~17時

1月27日(日)

10時~16時

《場所》

さいたま市民文化センター

「南区根岸1の7の1」

※入場自由

第34回埼玉県佛教徒大会協賛

協賛業者芳名

(株)オーシャン・トラベル様

(株)幸隆様/ (株)財木屋関東営業所様

(株)放光様/ 綺麗堂様

[埼玉県佛教会募集分 順不同]

毎月八日 縁日
毎月第四日曜 写経会
吞龍上人祈願所
浄土宗檀林霊場会

蓮馨寺

住職 糸原恒久

〒350-0066

川越市連雀町7-1

TEL 049-133-0043

FAX 049-136-0676